



概要

■ 全体スケジュール

開催日	主な検討内容
第1回(9/25)	・ エリアプラットフォームの位置づけ、目的、方向性の確認
第2回(11/6)	・ 組織のあり方やエリアビジョンについてのアイデア出し
第3回(12月中旬)	・ 組織のあり方やエリアビジョン(案)に関する協議・検討
第4回(翌1月下旬)	・ 組織のあり方やエリアビジョン(案)の確認

■ 第2回準備会の実施概要

日時	11月6日(木)14:30~16:30
場所	村上市教育情報センター2階 多目的研修ルーム
参加人数	20名(市内事業者10名、オブザーバー2名、村上市4名、コンサルタント4名)
主な内容	1. 【事務局からの説明】 エリアプラットフォーム設立規約及びエリアビジョンについて 2. 【グループワーク】 ① 皆さんが思う「村上らしさ」とは？ ② 村上駅周辺まちづくりの「合言葉」



事務局からの説明

■ 「エリアプラットフォーム設立規約」について

- ・ エリアプラットフォームは法人格を持たない任意団体であるため、登記などの法的手続きは不要ですが、**運営の基本的なルール**となる「規約」を策定します。
- ・ 目的や活動内容、構成員などをあらかじめ定めておくことで、**構成員同士の目的意識を共有し、意思疎通を円滑に進めることができます。**

■ 「エリアビジョン」について

- ・ まちづくりに関わるすべての関係者が、**今後のまちの将来像を共有できる「ミライ設計図」**として作成する1枚のイラストです。
- ・ 「村上駅周辺まちづくりプラン(基本構想)」をはじめ、**これまでの各種計画や市民・学生ワークショップ等の成果を踏まえながら、市内事業者(プレイヤー)の視点も取り入れ、思わずワクワクするようなエリアビジョンを作成します。**

【市の計画】



【市民の想い】



【市内事業者の想い】



エリアビジョン

グループワーク

■ メンバーへの事前アンケート

- ・ 村上駅周辺まちづくりに係る事前アンケートを行い、以下の方向性を確認しました。

村上駅周辺エリアに対する考え(回答結果概要)

理想の姿	守りたいもの	変えていきたいこと
市民は高い利便性、観光客は「 村上らしさ 」を感じられる場所にすることで、賑わいと交流が生まれ刺激し合える空間にしたい。	「歴史や文化」は市民の大切な財産であり、観光客等が「 村上らしさ 」を感じられる貴重な資源。積極的に活用し、次世代受け継ぎたい。	「 歴史や文化 」を活かしつつ、 古いイメージを一新 させたい。人が滞留して 活気を感じる場所 にしたい。

「村上らしさ」とは何かを深掘り・具体化

■ グループワーク結果

テーマ	Aグループ	Bグループ
「村上らしさ」とは	・ 歴史(職人のまち、村上藩) ・ 食(日本酒、鮭、岩ガキ、村上牛、岩のり、岩船米、朝日豚) ・ コミュニティのつながり(人情、仲間意識、温かみ等)	・ 地酒、レベルの高い「食」 ・ 市民に根差した三大祭り、温泉 ・ 鮭と温泉の組合せ ・ 榎(たが)の木
村上駅周辺まちづくりの「合言葉」	「すべてある。ないのは人だけ。」 > 村上市には食、文化、歴史、人情全部がある。求めるのは「人」だけ。	「駅前ひとの“杜(もり)” > 村上の人は“鮭っ子”。鮭が帰ってくるように人も帰ってくる。 > シンボルツリーとして榎の木を植え、自然と人が「じわ〜っと」集まる駅前エリアを目指したい。

これらの意見・アイデアを基に、第3回準備会以降に**エリアビジョン(案)**を検討・作成予定

■ グループワークの様子

